

令和6年9月26日
九州地方整備局
宮崎河川国道事務所

簡易遠隔操縦装置（ロボQS）取付訓練及び操作訓練を実施します

宮崎河川国道事務所では地震や台風等の大雨に備え、災害時に2次災害を防止し復旧活動を行うため、汎用バックホウを遠隔操作可能とする簡易遠隔操縦装置（ロボQS）を配備しています。

今回、取付方法の習熟を図るため、「災害時における九州地方整備局管内の災害応急対策業務の支援に関する協定」を締結している（一社）日本建設機械レンタル協会宮崎支部を対象に取付訓練、及び令和6年度災害時協力会社のオペレーターの皆様を対象とした操作訓練を実施いたします。

- 訓練日時
 1. 取付訓練 令和6年9月30日（月）13:00～16:00
 2. 操作訓練 令和6年10月1日（火）10:00～16:00
令和6年10月2日（水）10:00～15:00
- 訓練場所 宮崎市吉野 本庄川河川敷 〈UTMポイント：52RGA21764056〉
※別紙参照
- 訓練参加者
 1. 取付訓練 （一社）日本建設機械レンタル協会 宮崎支部（20名程度）
 2. 操作訓練 令和6年度災害時協力会社（30名程度）
- その他 取材を希望される方は直接現地までお越しください。
また、訓練状況の写真等については、後日提供することも可能です。

問い合わせ先：国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
総括地域防災調整官 堤 宏徳
防災課長 前田 哲司
TEL： 0985-24-8221（代表）
URL： <https://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

別紙

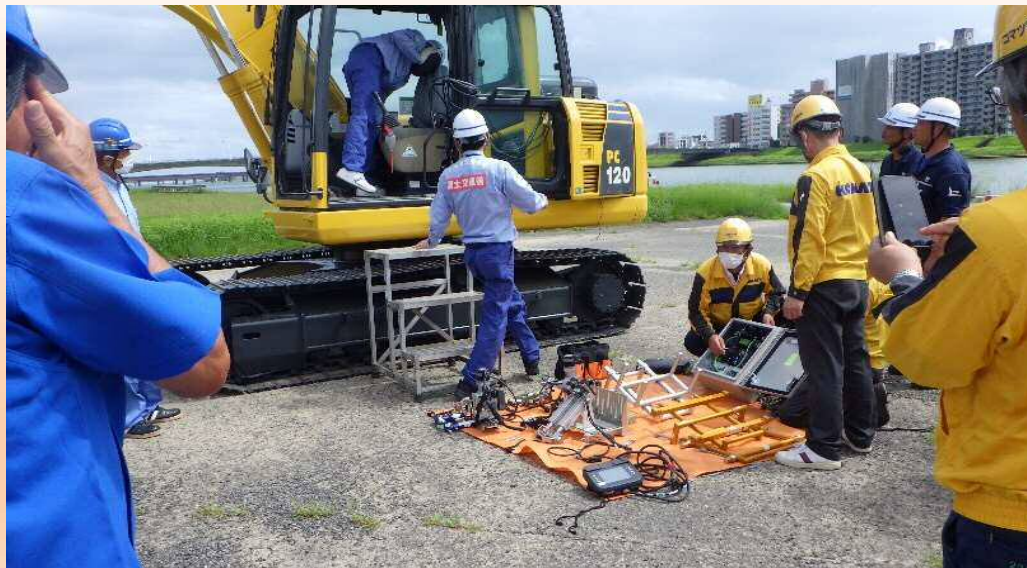


UTMポイント：52RGA21764056

※確認方法は、参考資料をご参照ください。

ロボQS取付訓練のイメージ

※令和5年9月11日実施の取付訓練状況



ロボQS操作訓練のイメージ

※令和6年1月30日実施の操作訓練状況



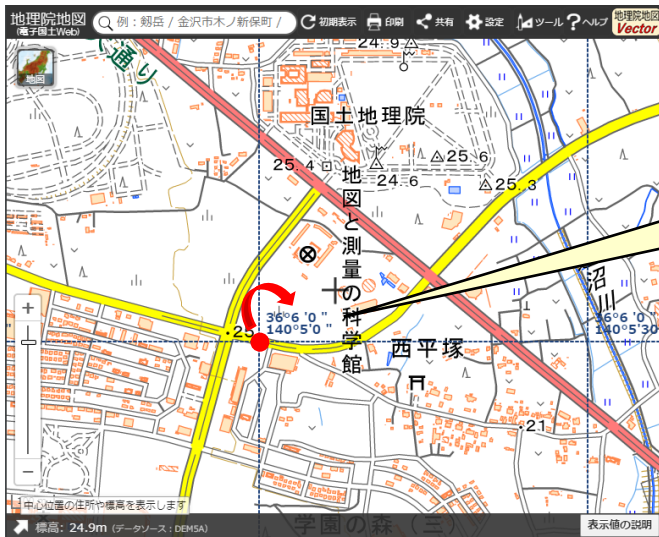
地理院地図によるグリッド表示・UTM ポイントについて

経緯度グリッド・UTM グリッドの表示方法



「地理院地図」の地図右上の「設定」ボタンをクリックし、さらに「グリッド表示」をクリックすると、経緯度グリッド・UTM グリッドの表示状態を切り替えるメニューが表示されます。

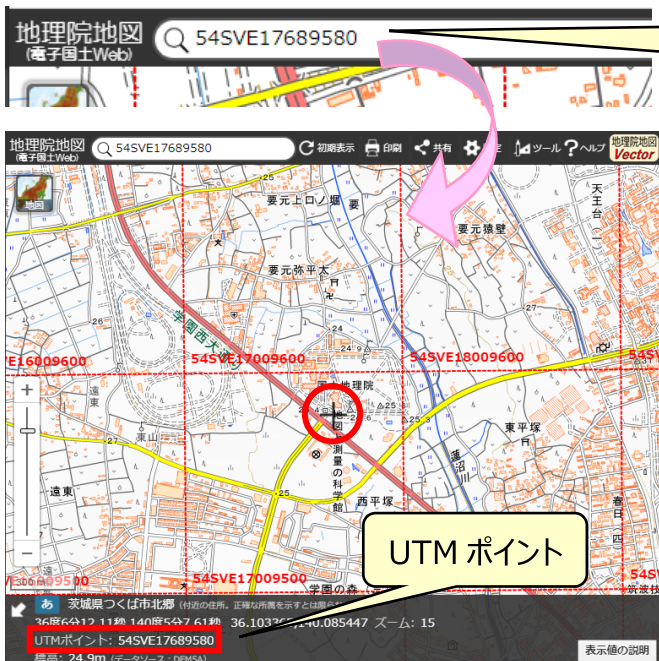
経緯度グリッドの表示



36度6分00秒
140度5分00秒

→ グリッド左下の座標を表示しています。

UTM ポイントの検索



UTM ポイントを入力後、**Enter** キーを押してください。

→ 該当する位置が地図の中心になります。

UTM グリッド及び UTM ポイントの表示



「UTM ポイント」について

(例) 54SVE17689580

54 : 座標帯番号

(例えば東経 132-138 度は 53, 東経 138-144 度は 54)

S : 緯度方向 (南北方向) を 8 度ごとに区切り、アルファベット 1 文字を割り当てたもの

(例えば北緯 24-32 度は R, 32-40 度は S)

VE : 100km 四方のエリアを一定の表記法によりアルファベット 2 文字で表示したもの。(UTM100km 平方地域コード)

1768 : 経度方向 (東西方向) の UTM 座標値 (417680 (m) を、1768 と表記)

9580 : 緯度方向 (南北方向) の UTM 座標値 (3995800 (m) を、9580 と表記)

地理院地図の UTM グリッド表示機能の作成にあたっては、[THE UNIVERSAL GRID SYSTEM](#) を参考としています。

簡易遠隔操縦装置 (ロボQS)

現地のバックホウを遠隔操縦機械へ！

迅速な運搬・取付・遠隔操作及び安全な場所から操作が可能。

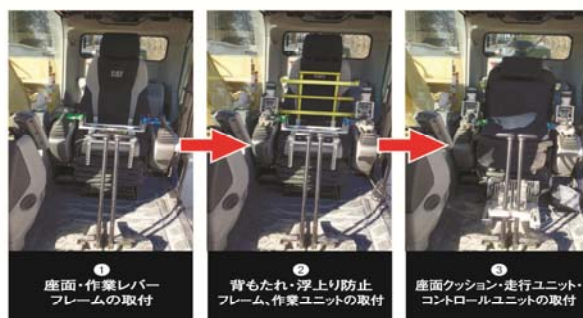


運搬



ユニットを小型軽量化によりワンBOXカー1台で運搬可能。

取付



フレーム構造採用により容易に取付。

搭乗運転



ロボQSを搭載した状態



ロボQSを搭載したまま搭乗

装置を取付たまま搭乗運転が可能。
遠隔・搭乗操作を臨機応変に切替可能。
作業効率が大幅に向上。

■主要諸元

項目	内容
取付要員	1～3名程度
取付時間	30分～60分程度
ユニット数	5ユニット ①作業レバー用アクチュエーションユニット ②走行レバー用アクチュエーションユニット ③パイプフレームユニット ④コントロールユニット ⑤遠隔操作ユニット
総重量	約70kg
駆動方式	電動
無線方式	特定省電力無線(429MHz)
遠隔操作距離	150m程度(無線の使用環境による)